

一般社団法人障がい者アート協会

第3期 年間活動報告

(2017年12月～2018年11月)

総括

2017年度は収入が6,641千円に対して支出が5,655千円となり、総体として986千円の黒字で一年間を終え、期初に設定した前期2倍強の目標でありました売上6,500千円と黒字決算を達成することができました。

前期は作品二次利用による収益事業の基礎を固める種まき活動に注力した一年間でありましたが、今期はそれらの活動が実り、カレンダーや付箋他、多様な二次利用案件で実績を残すことができ、収入の大幅増を実現できました。結果的に作品二次利用実績の割合は、前期の約20%から期初に目標としていた50%強まで増加しています。

一方、障がい者支援の面ですが、支援の対象となる作家数については、前期の成長スピードをそのままに維持しています。登録作家数は毎月10%アップの水準で増加しており、既存の支援制度ではケアしきれなかった国内の潜在的要支援者の顕在化とその層への具体的支援活動が形作られてきていると判断します。具体的には作品二次利用の増加により、創作活動応援費含め、その支援金額は前年比約2.5倍の1,300千円、対象者数は前期比2倍強の350名と大幅に増加していることから、経済的な支援の全体ボリューム、裾野共に確実に拡大しています。

このように、3期は2期に築いた地盤を基に、障がいがある人の多種多様なアート作品を活用した様々なCSR活動への取り組みを企業に提案し、そして実施して頂くことで、一人でも多くの障がい者に対する経済的精神的支援を実現するという障がい者支援の新しい枠組みをまずは確立できた一年であったと認識しています。

一方で、現時点で、低収益性、長時間労働、更なる拡大に向けたリソースの不足等、現実的な課題も明確になっており、今後については3期で確立した支援事業の枠組をサステナブルなものにしていくため、それに必要な「あるべき収益構造」を再度設定し、協会運営、個別事業、日常作業等あらゆるレベルで課題解決に向けた様々な施策の検討、実現にスピードをもって取り組んでまいります。

I. 個別テーマのレビュー

【支援活動】

3 期末時点で作品公開数は 3200 点、登録作家数は 200 名を超えています。一年間に 1700 点の作品をギャラリーサイトで公開し、多くの人の目に触れることとなったと同時に、今期新しく 125 名の障がいがありながらも創作を続ける人に発表の場を提供することで精神的満足を、加えて著作権利用料や「創作活動応援費」といった経済的支援を得る機会を提供できました。また、団体の新規登録は 2 団体にとどまり、今後の課題として残りました。		2期末	3期末	増加
作品点数	1,500	3,200	1,700	
登録作家数	76	201	125	
登録団体	4	6	2	

の目に触れることとなったと同時に、今期新しく 125 名の障がいがありながらも創作を続ける人に発表の場を提供することで精神的満足を、加えて著作権利用料や「創作活動応援費」といった経済的支援を得る機会を提供できました。また、団体の新規登録は 2 団体にとどまり、今後の課題として残りました。

作品が何らかの形で商用利用された際に発生する著作権利用料が、金額で約 3 倍、支払対象作品（作者）数は 1.7 倍と大幅増となっている		2期	3期	2期比
著作権利用料	金額：千円	276	808	293%
	対象者数	48	81	169%
創作活動応援費	金額：千円	216	452	209%
	対象者数	117	270	231%
金額計		492	1,260	256%

ことから、高額ではないものの、多様な作品二次利用は昨年度に比べ着実に社会に根付き始めていると考えます。

尚、この著作権利用料及び創作活動応援費といった経済支援は、対象者個別に源泉徴収所得税を差し引いた（翌月に協会が納付）金額を各自に振り込んでいます。

【周知活動】

フェイスブックなど SNS を通じた毎日の活動や作品の紹介、ニュース配信サイト経由の二次利用実績紹介等、インターネットを使った周知活動は前記同様積極的に行いました。

その他、今期は周知活動の一環として、書籍発刊（タイトル：障がい者アートの未来を探して）、ラジオ出演（J-WAVE_Step One）等の既存のメディアを使って、障がいや福祉とは少し遠いところに周知の裾野を広げる試みを行いました。



障がい者アートの未来を探して ~コイントスから始まった起業奮戦記~
熊本豊敏

Kindle版

¥ 0 kindleunlimited

会員の方は読み放題でお楽しみいただけます。

¥ 600 Kindle 価格

★★★★★ (7)

その他のフォーマット: オンデマンド (ペーパーバック)

また、全国規模で開催される福祉系の大きなカンファレンス（アール・ブリュット国際フォーラム 2018）にて登壇のご依頼を受けたことも協会名及び活動の周知という点では効果的であったと感じています。

その効果を明確に測るデータはございませんが、問い合わせ数の増加や新しいネットワークができたこともあり一定の効果はあったと認識していると同時に、引き続き機会を見つけてチャレンジしていきます。

また、企業ノベルティに限定した商品化によって 5000 人強（下表）、加えてウェブサイトへの素材（作品）提供、建築現場仮囲いや企業内ミーティングブースといったオープンスペースで更に数千名の「障がいのある人のアート活動」とは無縁の人々の手元に作品を届けることができました。数量的にはまだ僅かなものではございますが、一人で

も多くの人にその活動を知ってもらえるよう、引き続き企業様と連携したこの取り組みに注力してまいります。

	お取り組み企業	アイテム	数量
	ヤマデンさま	付箋セット	600
	金鶴食品製菓さま	付箋セット	500
	神奈川ナブコさま	付箋セット	1,000
	リハMAPさま	クリアフォルダ	500
	木下岳人さま	年賀状	40
	ヤマデンさま	カレンダー	1,400
	キャリアフィットさま	年賀状	1,470
			5,510

【収益事業】

前期同様、より多くの作品が世に出る機会を得られるよう、連携するデザイン会社の株式会社 MOGU と様々な二次利用の提案を行いました（実績：下記表参照）。

建築現場の仮囲いを象徴的な取り組みに位置づけ 3 件の実績を残した他、付箋セットやクリアフォルダといった文具ノベルティ、ホームページ或いは展示会用ツールなどに使用するイラストビジュアル等、前期からさらにその展開アイテムは広がり、実施企業の業種や規模の点でも偏りなく利用いただくことができました。





尚、この二次利用の時に発生する売上からデザイン費等の原価を除いた収益の 70%の金額を障がい者支援に充当しました。

	作品のみ提供 (デザイン等先方)	デザイン提供 (作品をリ・デザイン)	商品化 (最終納品まで)
作品使用実績	<ul style="list-style-type: none"> 年賀状 ホームページ 名刺 	<ul style="list-style-type: none"> 年賀状 建築現場仮囲い Tシャツ 展示会用ツール 	<ul style="list-style-type: none"> 年賀状 付箋セット タンブラー クリアフォルダ 外堀用垂れ幕 カレンダー

【スポンサー企業さま、他収入】

今期は支援継続頂けた6社さまに加え、新たに既存スポンサーさまからのご紹介とサイト問い合わせから4社の企業さま（下表）にご賛同いただき、計10社の企業さまからのスポンサー収入を基盤に一年間活動に取り組むことができました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

●新規スポンサー企業さま

	松本機械工業株式会社	石川県金沢市
	ヒューフレディ・ジャパン合同会社	東京都千代田区
	株式会社プリントバック	京都府向日市
	ネットスクウェア株式会社	東京都中央区

また、株式会社シャディさまのギフトカタログを通じた個人、及び協会に直接お申し出いただいた寄付が年間で約270件、更に今期は年間で30点のB to B作品売却の他、個人への売却も2点ほどありました。

【損益、財務】

損益的には年間総収入約6,600千円の内、外部委託のデザイン費や商品制作費、著作権料等の支援費といった売上原価を除いた粗利益額は約50%の3,300千円。業務委託費^{※後述}含めた販管費等除いた営業利益は対売上比約20%の1,350千円となりました。粗利益率、営業利益率自体は十分な水準を確保できているものの、金額ベースでは従業員2名の人件費を賄うだけの利益を未だ生み出せていないことを大きな課題として認識しています。

	前期		当期	
	(千円)	売上比	(千円)	売上比
売上	2,550		6,641	
粗利益額	1,989	78%	3,361	51%
経費	1,881	74%	2,004	30%
営業利益	108	4%	1,356	20%

一方で財務的には期初1,300千円あった借入は積極的な返済により残高100千円となり、健全な運営に一步近づきました。負債が大きく軽減されたことから、成長に向けた投資環境が財務面では整いつつあると考えます。

※補足：業務委託費

今期の本費用算出方法は粗利益額から経済支援額を除いた最終的な協会収入の70%。支払先は当協会前身組織のアトリティ株式会社。当協会在籍2名の人件費及び起業時の融資返済等に充当。また当該法人はこの業務受託事業以外、主には当協会が行う「リサイクル寄付」に伴うリユース事業を行う。

II. 4期方針

団体設立後3年間の中で、支援の対象となる作家募集の仕組みづくりは構築できたと考えます。これにより当面は支援対象者の裾野は広がっていくと推測されます。一方、支援の原資となる作品の二次利用についても、収益を産み出すその展開先やパターンを個別の実績の中で理解することができました。

しかしながら損益レベルで見た場合は満足のいくものではないこともあり、4期につきましては、顕在化しているいくつかの課題を解決していく必要があると考えます。つきましては、現在のペースで支援規模を拡大していくにあたり、以下の点を重点ポイントとして一年間取り組んでまいります。

【他社連携強化】

今期は、新規営業代行1社、商品化企業2社（Tシャツ、雑貨）と連携する契約を締結しました。

継続して更なる連携先を探し、多様なアイテム、シーンにおいて一人でも多くの人の作品が二次利用される機会、及び協会としての売上増加を目指します。

【収益性の確立】

前期をもって「障がい者支援」と「作品を利用した事業」を繋げる基本的な枠組みは構築できたと判断します。したがって今後はこの枠組を持続的成長可能なものとすべく、現在の低収益性体質からの脱却を目指し、その対策を検討・実施します。

【投資環境の整備】

借入の返済がほぼ終了したことから、現金の留保に努め、公開作業合理化とユーザーの使いやすいサイトへの大幅改修といった投資にかかる資金的環境を整えてまいります。

【収益目標設定の見直し】

現在（12/12）時点では、4期の売上は3期の1.5倍の10,000千円を目標に設定しています。

但し、上記4点を鑑み、新たな運営体制の中で売上・利益といった収益の他、支援額・支援者数まで含めて目標の再設定に迅速に取り組めます。

III. 参考資料_1

●主要数値（速報値）

損益計算書

(2017年12月～2018年11月)

(単位：円)

	前期	売上比	当期	売上比	増減額	増減率
売上高合計	2,550,344	100%	6,641,133	100%	4,090,789	260%
売上原価	561,041	22%	3,280,282	49%	2,719,241	585%
売上総利益	1,989,303	78%	3,360,851	51%	1,371,548	169%
販売費及び一般管理費合計	1,881,346	74%	2,004,676	30%	123,330	107%
(内業務委託費)	(1,153,938)	45%	(897,000)	14%	▲ 256,938	78%
営業利益	107,957	-	1,356,175	20%	1,248,218	-
営業外収益合計	91	0%	0	0%	▲ 91	0%
営業外費用合計	0	0%	0	0%	0	-
経常利益	108,048	-	1,356,175	20%	1,248,127	-

貸借対照表

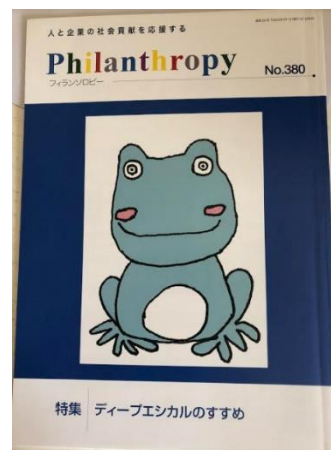
(2016年12月～2017年11月)

(単位：円)

	前期	構成比	当期	構成比	増減額	増減率
流動資産合計	432,325	9%	399,820	48%	▲ 32,505	92%
固定資産合計	55,500	12%	55,500	7%	0	100%
繰延資産合計	373,114	80%	373,114	45%	0	100%
資産の部合計	860,939	100%	828,434	100%	▲ 32,505	96%
流動負債合計	1,370,205	185%	88,671	-	▲ 1,281,534	6%
固定負債合計	0	0%	0	0%	0	-
負債の部合計	1,370,205	185%	88,671	-	▲ 1,281,534	6%
純資産の部合計	▲ 616,416	-	739,763	-	1,356,179	-120%
負債・純資産の部合計	753,789	100%	828,434	100%	74,645	110%

参考資料_2

●作品使用実績（一例）



以上

2018年12月吉日

埼玉県入間市小谷田 656-2
グリーンコート 101
一般社団法人 障がい者アート協会
代表理事 熊本豊敏
理事 水谷陽平